

研修ニュース

〒518-0814 三重県伊賀市上友生 785 番地

TEL&FAX : 0595 (21) 8839

E-Mail : iga-ken@iga.ed.jp



研修講座 B-4 生徒指導① を実施しました！

「コーチングのスキルと活用～不登校解決のためのリソースを探す～」

【講師】 ナラティブコミュニケーション教育研究所 所長 佐藤 敬子先生

6月23日(木)に研修講座「生徒指導①」を実施しました。講師にナラティブコミュニケーション教育研究所所長の佐藤敬子先生をお迎えし、「コーチングのスキルと活用～不登校解決のためのリソースを探す～」と題して、不登校の捉え方、コーチングのプロセスやスキル、GRROW モデルについて学びました。

不登校の捉え方については、学校に来ることができない原因を探すのではなく、「なぜ、学校に行くことができていたのか」というプラスの要因を考えることで解決の糸口を探すことが大切であることを教えていただきました。

コーチングのプロセスについては、まず、観察し、その子にしかない物語の材料を探すことから始め、「2 往復のコミュニケーション」、「気持ちを聴く」、「ほめる」・「存在を認める」、「問いかける」といった段階を追っていくことの重要性、コーチングのスキルについては、関係性を構築していくために承認のスキルとして、ほめることは大切で存在をほめる（認める）ことはもっと大切であることを話していただきました。具体的には、「変化をほめる」、「行動や姿勢をほめる」、「存在をほめる」、「組織に貢献していると感じさせる」ための言葉がけなどが重要であることを教えていただきました。



後半は、小グループになって、担任役、生徒指導担当役、観察役に分かれ、不登校傾向の子どもがクラスにいるという想定で生徒指導担当が担任に質問をして、解決の糸口を探すといった演習を行いました。最後にチームで目標を設定し、現状を把握し、目標に向かうための資源を考え、いつから誰が何からおこなっていくかを具体的に考え、行動に移していくといった GRROW モデルについて学びました。本講座で学んだことを各校・園で還流していただきますようよろしくお願いいたします。



アンケートより 【一部抜粋】

- ・日々の教育相談に使えるようなテクニックや心がけを教えてくださいました。プラスの質問をして、先生が前向きに子どもに関わっていけるような声かけをしていきたいなと思いました。(小)
- ・一人で対応するのではなく、チーム学校として動く大切さを感じました。色々な視点からアプローチしていく中で、話をしたい人になれるよう、子ども視点でいたいと思いました。(中)
- ・普段生徒と話をするとき、今日の内容を意識しながらコミュニケーションをとっていかうと思いました。また、不登校の生徒を引き上げるタイミングを逃さないように関係機関や家庭と連携を密にしていかなければならないと感じました。これからも生徒とたくさん話す機会を作り、生徒の自己肯定感を上げられるように関わっていきたいです。(中)